

TASHIRO NEWS LETTER 138

発行 田代稚恵美ピアノ教室

第48回ピティナピアノコンペティション 2024

全国決勝大会
入選

吉田 侑永 (A1級)

本選

本選第3位

吉田 侑永 (8/8 東日本3本選 A1級)

本選奨励賞

吉田 侑永 (8/6 東日本茨城本選 A1級)

海老原 要 (7/31 東日本八王子本選 A1級)

金子 舜 (8/8 東日本3本選 C級)



メダルをかけた侑永くん



浜離宮朝日ホール



侑永くん 田代



予選

予選優秀賞 (予選通過)

吉田 侑永 (6/30 つくば)

吉田 侑永 (7/14 巢鴨7)

金子 舜 (7/14 町田5)

海老原 要 (7/14 松戸)

海老原 要 (7/23 柏後期)

予選奨励賞

金子 舜 (6/23 取手)

リハーサル参加

吉田 侑永 (6/9 柏前期)

金子 舜 (6/9 柏前期)

吉田 侑永 (7/25 市川)

金子 舜 (7/25 市川)



応援の金子さん、舜くんや要と



兄弟のような侑永くんと舜くん



吉田侑永くん(小2)は昨年に引き続き2回目の参加。コンペのレッスンが始まってから、昨年彼の中でしっかりと培ったものがある事を実感しました。

音量も昨年とは比べ物にならないくらいたっぷりとした粒立ちのいい音が出るようになっており、期待値が上がりました。しかし、予選は通過してくるもの思ったように高得点には至らない。

「なんで!？」私の中での葛藤が始まりました。彼の不器用さがステージで前面に出ているのではないかな。それなら!歩き方、お辞儀の仕方を再調整。打鍵スピードもコントロールしてみました。

吉田侑永くん 7月末には侑永くんのお母様が取手ウェルネスプラザのホールとスタインウェイピアノの無料貸出しに応募!当選してホールレッスンも出来ました。おばあちゃまと侑永くんは暑期中、グランドピアノのレンタル室に通って下さっていました。ご家族のみなさんの熱い思いをなんとか全国へと繋ぎたい!しかし1回目の本選は奨励賞。「なんで!？」審査員のメッセージ用紙、ホールで聴いて下さっていたおじいちゃま、お母様の情報から2曲目が走ったことがわかりました。よし!テンポだ!やっていることは間違いがない!2回目の本選まで2日しかありませんでした。本選と本選の中日に2時間半かけて一から曲の練り直し、テンポの確認。2回目の本選、彼の演奏番号が1グループの1番であることが今回は幸いして(通常、1グループ1番のコンテストは評価点が伸びにくい。)他の人のテンポに左右されることなく自分のテンポで弾き切り、本選第3位で全国決勝大会へ!夢を現実へと彼は引き寄せたのです!お盆休み返上で毎日のレッスン。ここからがまた大変でした。彼の目標は「全国決勝大会に進みたい」ということで、その上の「全国で素晴らしい演奏をする」という事ではなかった事に気づき、愕然としました。これでは勿体無い!来年またコンペを受けたとしても全国決勝大会まで進めるとは限りません。このチャンスを最大限に活かしたい!全国のステージでは予選曲本選曲合わせて4曲演奏します。1曲ずつ時代背景やその作曲家らしい表現で調整が出来たと思っても、4曲続けて弾くと「ただ弾く」だけで終わってしまう事が続きました。しかし、彼はあきらめませんでした。本来不器用で恥ずかしがりやの彼が音楽を身体で感じて演奏しようと身体をゆすってみたり、様々な表現をしようと顔の表情を次々に変えてみたりしている様は見ていると胸が詰まりました。そして、浜離宮朝日ホールでの全国決勝大会。堂々とステージに出て、スケールの大きな演奏!全国決勝大会入選おめでとう!3月からの長丁場、この異常な暑さの中、集中力を切らさず、コツコツと粘り、本当によく頑張りました!



金子 舜くん（小5）も昨年に続き2回目の参加。C級の課題曲がグ〜と難しくなることはわかっていましたが、彼も昨年コンペで大きな手応えを感じたのか「参加します。」と言ってくれた時は嬉しかったです。しかし、譜読みでまず悪戦苦闘。バロック、クラシック、ロマン、近現代4曲を弾かなければなりません、どの曲も難しかったです。譜読みから2時間越えの特訓をして、楽譜の中の宝探しをしました。譜読みが完了すれば彼の持ち前の音が鳴ってくると思ったからです。しかし「？」。「練習、どのくらいしてるの？」「1時間くらい」そこで私の爆弾が破裂！「1時間で4曲の練習が出来るわけないでしょ！」1回目の予選は早い時期を選んでいました。早い時期の予選は全国狙いの子が多くレベルが高いのです。今年は「やる気だな！」と思っていたら、それを知らなかったそうです（苦笑）1回目の予選は音抜けで奨励賞。しかし、奨励賞は2名だけ。つまり「次点」ということです。「やっていることは間違いない！」ところが、2回目の予選前日。「頭が痛い。」と浮かぬ顔でレッスンに来ました。「自分に負けたらダメなのよ。コンペは自分との闘いなの！」舜くんは目の輝きを取り戻し2回目の予選へ。しかし緊張からか大ミスをしたそうです。すぐに送って頂いた画像を確認すると、そのミス以外は前後共に素晴らしい演奏！「まだ諦めないで！」そして予選通過！どこまでもドラマチックな展開でした（笑）本選でも伸びやかな演奏ができたようです。本選奨励賞おめでとう！頑張ったね！



金子 舜くん

東京藝術大学奏楽堂 モーニングコンサート



山下一史氏と

上田萌莉さんが7月4日（木）東京藝術大学奏楽堂で山下一史氏指揮で藝大フィルとサン＝サーンス作曲ピアノ協奏曲第5番を共演しました。萌莉さんは白いドレスでの登場。神々しい程で、絵画的なこの作品を美しく弾き切りました。彼女の藝高に入学してからの研鑽が偲ばれました。

また、藝大3年生の後期試験に優秀な成績を残したことで、公益財団法人青山音楽財団2024年度奨学金を頂ける事になりました。素晴らしい活躍！本当におめでとう！

ベートン音楽コンクール



8月18日（日）曳舟文化センターにてベートン音楽コンクールが開催され、石井那月（小6）さんが自由曲コースピアノ部門小5・6年生の部に参加、優秀賞を受賞。本選に進みました。那月さんは「遅咲きの桜」だと感じています。小さい頃はピアノの練習も時間確保が難しいこともありますし、那っちゃんも恥ずかしがりやでステージでの演奏が好きなようには見えませんでした。ところが、成長するにつれ、恵まれた体型を味方につけてスケール大きな演奏をするようになってきました。本人もピアノのステージが楽しくなったのか、昨年からはコンクールにも参加しています。今回は自分の弾きたい曲を弾けるコンクールに挑戦！「完全に自分の身体に入って自分のものにして演奏されているのが素晴らしいです。」と審査員から嬉しいメッセージを頂き、その部の最高点での優秀賞！本選も頑張れ！

20240821

東京音楽大学

ピアノ演奏会

～ピアノ演奏家コース成績優秀者による～



沢山の応援団と

石井美有さんが8月1日（木）東京文化会館小ホールにて、上記コンサートに出演。2部のトップバッターで演奏しました。長いドレスをたくしてコツコツ靴音を響かせながら颯爽と登場した美有さんに感動していたら少しつまづくあたり、根は変わっていないなあと😊
バッハ作曲幻想曲とフーガ イ短調BWV904、リスト作曲超絶技巧練習曲集 S.139 R.2bより第12番「雪あらし」。超絶技巧を超絶技巧と思わせぬように自然に歌わせる技量に感嘆。有永真由美、稲垣悦子、稲垣光希、新関愛子、村木裕子、片山紬のみなさま、応援有難うございました！！

編集後記

今年は娘あかりの長男、海老原要がコンペに参加。目的は「母子分離」との事で、スイミングにも1人では嫌だと入会したがるな要を1人でステージに出すことで自立させたいとの事でした。要はピアノのレッスンは今まで受けたことがありません。本人がやりたいというまで待つというのが娘の方針です。しかし、本人がやりたいと言い出すのを待てば時既に遅しとなってしまう部分がある事も充分理解しているので、ソルフェージュだけは教え、好きな曲を弾かせたりしていました。さすが当然ピアノを弾く上での基礎力もない。あかりは「ステージに1人で出て演奏する」事ができれば成功と考えていたようですが、コンペに出るとなれば予選は通過させてやりたい。本選でも、奨励賞に引っ掛けてやりたいと思ってしまうのが婆ば心。週末や夏休みを利用して合宿のような生活をしました。そして、本選奨励賞！出来すぎです！（笑）必死にレッスンしている私の横で「本選は賞の枠も少ないし受賞する訳ないから気楽だよね〜」と言った娘を叩いてやろうかと思いましたが（笑）兎に角、ハードな夏でした！

